

令和 6年 3月 28日

深川市議会議長 近 沢 弘 幸 様

会 派 名 令和公明クラブ
 代表者名 宮澤 孝司 

政務活動費収支報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第11条第1項（第2項）の規定により、下記のとおり年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収入
 政務活動費 333,830 円

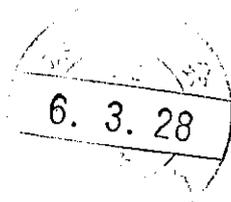
2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費	198,430円	令和5年10月24日～26日 第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州市に参加
研修費	120,440円	令和6年2月16日 地方議会セミナーに参加 令和6年3月22日～23日 地方議員研究会のセミナーに参加
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	14,960円	① スポーツを地域のエンジンにする作戦会議 ② 豊岡メソッド 人口減少を乗り越える本気の地域再生手法 ③ 地方議会議員のハンドブック 第2次改訂版 ④ 自治体の財政診断 ⑤ 地方議会運営事典
人件費		
事務所費		
合計	333,830円	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 差額 0 円



令和 6年 3月 28日

深川市議会議長 近 沢 弘 幸 様

会 派 名 令和公明クラブ

代 表 者 名 宮澤 孝司



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和6年2月16日(金) 10:00~17:00				
実施場所	北農健保会館 札幌市中央区北4条西7丁目1-4				
参加者名	宮澤孝司、松本雅祐、山本時雄				
実績額	90,000円(うち交付請求額90,000円)				
内 容	<p>内容</p> <p>議員・職員のための地方議会セミナー 「予算書・決算書を理解するための基礎知識」</p> <p>① 予算における基礎知識 予算書を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算とは ・ 予算の構成内容 ・ 歳入の費目を理解する ・ 歳出の穂目を理解する ・ 地方交付税等の算定式 <p>② 決算における基礎知識 決算証書を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決算とは ・ 決算の構成内容 ・ 目的別歳出 ・ 性質別歳出 ・ 財政分析指標の読み方 健全化判断比率等 				

《地方議会セミナー参加の報告書》

◆開催日時：令和6年2月16日（金）10：00～17：00

◆開催場所：北農健保会館

北海道札幌市中央区北4条西7丁目1-4

◆内 容：予算書・決算書を理解するための基礎知識

・講師 廣瀬和彦 （株）廣瀬行政研究所代表取締役
元全国市議会議長会法制参事

■10：00～13：00

『予算における基礎知識～予算書を理解する～』

◆予算について

地方公共団体の会計は、地方自治法 209 条①の規定によりにより一般会計と特別会計の会計区分があります。セミナーでは予算編成の流れ（下記の表を参照）を元に、国と地方の行政事務の分担、地方交付税額の決定方法と仕組み、地方財政計画、臨時財政対策債、地方債、歳出における目的別歳出について学びました。

他にも、ふるさと納税制度や推移、また、市町村において税の大きな収入であります固定資産税の概要や推移についても学びました。



■14：00～17：00

『決算における基礎知識～決算書を理解する～』

決算の構成内容、目的別歳出、性質別歳出、財政分析指標の読み方から健全化判断比率等について講話がありました。



◆決算について

決算は、地方自治法第96条に根拠規定が示されており、議会の議決によって認定することとなっております。

議会は、地方公共団体の一会計年度における歳入歳出予算の執行の確定した実績を示す計算書を元に、執行機関による予算の執行状況を事務的に監視するとともに、翌年度の以降の予算案に関する審議を行うための参考資料となる

情報や判断材料を得て議決します。

決算の手続きは、会計年度終了後の翌4月1日から始められるが、集計は5月31日までの2か月間は出納整理期間として定められており、出納整理期間が終了した6月1日からの決算集計が開始されます。

【総評】



セミナーでは、私たちが深川市の財政を踏まえ、質疑の時間で「不用額について」「繰出金について」「臨時財政対策債について」「地方債について」「デマンド交通について」等の質問をしました。

深川市議会は、令和6年3月の第1回定例会で、令和6年度深川市の一般会計及び特別会計・公営企業会計の予算を審議するため、全議員で構成する予算審査

特別委員会を立ち上げ審議します。

深川市は、市税の割合が低く予算全体の11%程度で、国からの地方交付税が全体の41%程度を占め、財政的には大変厳しい状況であります。

こうした状況ではありますが、限られた財源の中で市民の皆様の福祉の向上と市勢振興の発展に最大限の効果が出るよう、令和公明クラブとして予算審査特別委員会で議論して参ります。

《地方公共団体の予算編成の流れ（例）》

8月	予算編成方針	翌年度の課題や財政見通しを受けた基本的な施策の方向性が示される
9月	行政評価	行政評価と議会の決算審査・議会の予算要望を事業部門が予算編成に反映
～12	予算要求	事業部門が予算編成方針に基づいて所管する事業の見積書を作成し、財政部門に提出
12月～ 1月	予算査定	事業部門が提出した見積書に基づいて財政部門が調査し、首長の査定を受けるまでの調整をする
12月～ 2月	地方財政計画 (国)	多種多様な地方公共団体の財政の複合体である地方財政の規模や収支見通しを全体として捉えたもの
1月	予算の内示・ 復活	首長査定の結果が財務部門と通じて各事業部門へ通知。復活要求・再査定という手順で予算を確定の場合あり
2月	公表	翌年度の予算発表される



令和 6年 3月 28日

深川市議会議長 近 沢 弘 幸 様

会 派 名 令和公明クラブ

代表者名 宮澤 孝司



政務活動費実績報告書

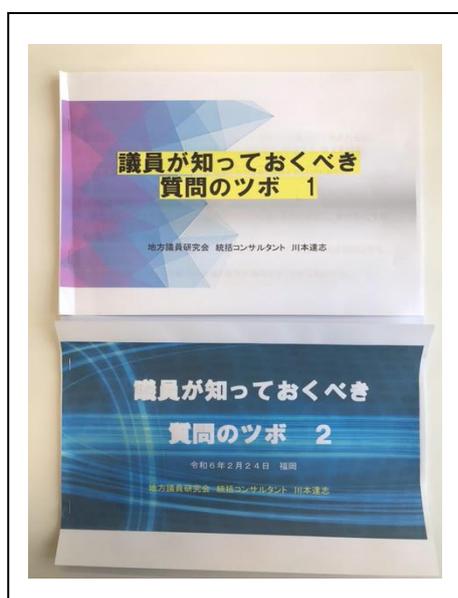
深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和6年3月21日(木)・22日(金) 13:30~16:00				
実施場所	市役所 会派控室				
参加者名	松本雅祐				
実績額	30,440 円 (うち交付請求額 30,440円)				
内 容	<p>内容</p> <p>地方議員研修会が開催した新規特別講座の質問力アップ合宿のセミナーを受講する。</p> <p>『議員が知っておくべき質問のツボ①』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 執行部から見た残念な質問 ・ 過去のセミナーで答えてきた改善例 ・ 先輩議員に聞いてもわからない質問の基礎基本 ・ 良い質問に必須の3条件 ・ 良い質問で役所が動いた事例紹介 ・ 質問作成のために必要な準備とは <p>『議員が知っておくべき質問のツボ②』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員との距離感と学習方法 ・ 答弁調整で言うべきフレーズ ・ 議員にしかできない現場やデータの補強のポイント ・ 議員に使ってほしい資料事例 ・ 他市でしている事業を質問すると執行部はこんな考えをします。 ・ 本会議での逃げ答弁に対する議員としての言い方 				

《地方議員研究会セミナーの報告書》

- ◆開催日時：令和6年3月21日（木）・22日（金）13：30～16：00
- ◆開催場所：深川市役所 会派控室
深川市2条17番17号
- ◆内 容：議員が知っておくべき質問のツボ①、②
講 師：川本達志氏 元廿日市（はつかいち）市副市長
地方議員研究会 統括コンサルタント



私たち地方議員は一般質問を行う事ができます。ただ、一般質問は法律で定められたものではなく、各議会の会議規則で定められております。一般質問は、地方自治体の一般事務について議長の許可を得て質問する事ができます。

一般質問は大きく分けて、①政策提案型、②課題・責任追及型、③自己主張型の3つのタイプに分かれます。

全国的に議会での質問の大半が①政策提案型の質問であり、住民福祉に係る課題について、解決のための施策・事業を提案し、執行部に予算化、条例化させることも目的に質問致します。

ですから、年4回の定例会で行う一般質問は、議員活動の主要なもので最重要の活動であります。より効果のある一般質問が議員には求められるため今回の研修を受講しました。

セミナーでは、川本達志氏が講師をされ、元廿日市副市長として執行部の立場から見た残念な質問の解説や、議員が取り組むべきことをアドバイスし、過去のセミナーで応えてきた改善例などを学びました。また、良い質問で役所が動いた実例紹介もありました。

【総評】

深川市は人口減少・少子高齢化社会を迎え、市民の皆様の困りごとや悩み事などは多岐に渡り、そうした声を市政に届け、また、議員は届けるがけではなく政策として形にできるよう日々研さんに努めなくてはなりません。

今回、セミナーを受講し議員としての役割、使命を更に高める必要があると感じました。

今後も、年4回の定例会での一般質問を通して、自らの質問力を高め、本質をついた質問ができるよう努めて参ります。

そして、市民の福祉の向上を促進し地域振興の発展に寄与できるよう、議会活動・議員活動に取り組んで参ります。





令和6年 3月 28日

深川市議会議長 近 沢 弘 幸 様

会 派 名 令和公明クラブ

代 表 者 名 宮澤 孝司



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和6年1月18日				
実施場所					
参加者名					
実績額	4,180 円 (うち交付請求額 4,180円)				
内 容	<p>内容</p> <p>購入本</p> <p>① スポーツを地域のエンジンにする作戦会議 2,000円+税 筆者 有山篤利・高松平藏 販売元 晃洋書房</p> <p>② 豊岡メソッド 人口減少を乗り越える本気の地域再生手法 1,800円+税 筆者 大崎麻子・秋山基 販売元 日本経済新聞</p> <p>購入場所 紀伊国屋書店 札幌本店 011-231-2131</p>				

令和6年 3月 28日

深川市議会議長 近 沢 弘 幸 様

会 派 名 令和公明クラブ

代表者名 宮澤 孝司



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和6年3月22日				
実施場所					
参加者名					
実績額	10,780 円 (うち交付請求額 10,780 円)				
内 容	内容 購入本 ① 地方議会議員ハンドブック 第2次改訂版 2,200円 ② 地方議会運営事典 第2次改訂版 5,500円 ③ 自治体の財政診断 財政指標の見方・読み方・考え方 3,080円 購入先 株式会社 ぎょうせい 東京都江東区新木場1丁目18番11号 代表取締役 成吉弘次				

5. 12. 18

令和5年12月18日

深川市議会議長 近 沢 弘 幸 様

会 派 名 令和公明クラブ

代表者名 会長 宮澤 孝司



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和5年10月24日(火)から26日(木)				
実施場所	西日本総合展示場 新館 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1				
参加者名	宮澤孝司、松本雅祐、山本時雄				
実績額	198,430円(うち交付請求額 198,430円)				
内 容	<p>全国市議会議長会が主催する、第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州市が令和5年10月25日(水)・26日(木)で開催され参加しました。 大会テーマは、「統一選挙の検証と地方議会の課題」 (24日に現地入りしました。)</p> <p>◆1日目 第1部 基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」 講師 片山 善浩氏 大正大学教授兼地域構想研究所長</p> <p>第2部 パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p> <p>第3部 意見交換会</p> <p>◆2日目 第4部 課題討議 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p>				

2023 年度 令和公明クラブ
《研究フォーラムの報告書》

会 長	宮澤	孝司
幹 事 長	松本	雅祐
事務局長	山本	時雄

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

大会テーマ

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

開催日時：令和5年10月25日（水）・26日（木）

開催場所：西日本総合展示場 新館

住所：北九州市小倉北区浅野三丁目8-1



(会場：西日本総合展示場 新館)

全国市議会議長会研究フォーラム開催の趣旨

本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する課題や今後の議会の在り方について有識者の方々や参加した議員による、活発な議論が交わされ意見交換を行い、議員同士が一層の連携を深めることを目的として毎年開催されています。

プログラム第1日目 10月25日（水）

第1部【基調講演】

【演題】 「躍動的でワクワクする市議会に」

【講師】 片山 善博 氏 大正大学教授兼地域構想研究所長



【講演内容】

■ 地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する。2元代表制で物事を決めるのが議会、それを実行するのが執行部である。どちらが重要かという決める側の議会である。住民が議会に対して議会が役割を果たしているのか、どうしたら果たせるのかを考えることが必要。

■ 日本の地方議会に欠けていること

① 会議で真剣な議論が公開の場でない。予算審議が無傷のまま通る。出来レース的なものと思われる。

② 税について議論をしない

③ 住民の声が聞こえない（市民の発言機会がない）税率をあげて賄う等の議論も必要ではないか。

■ 現行の議会の権限を活用し積極的に取り組むべきこと。

法律を改正して議員の位置付けを定める。

■ 議会の常識と市民の常識をすり合わせる—市民が首をかしげることは何か。等について講演を拝聴した。（要旨は全て抜粋）



第2部 【パネルディスカッション】

テーマ 「統一地方選挙と地方議会の課題」

【コーディネーター】 谷 隆徳 氏 （日本経済新聞社編集員）

「統一地方選を振り返る」について

統一地方を振り返る背景には、ハラスメントの取組、市民に近づいていける取り組み、多様な人材に参加してもらい、多様な方になり手になってもらうことができているのか、又、議会のダウンサイジングや議員の位置づけについても議論が必要である。この度の統一地方選挙の特徴は、女性議員の増加はしたが、投票率の低下傾向続き依然として無投票当選が多く、議員のなり手不足が大きな課題となっている。

【パネリスト】

1, 勢一 智子 氏 (西南学院大学 法学部教授)

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」について



人口減少社会の本格的到来が地域にもたらすも。住民自治の危機ではないのか、地域社会の「鏡」としての地方議会とは何か。など問題関心がある。

地方自治法の一部を改正する法律を定め、自治体における議会の位置付けや議員の職務の規定を挿入した。また、第33次地方制度調査会「多様な人材が参画し住民に開

かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」について説明する。

2. 辻 陽 氏 (近畿大学法学部 教授)

「多様な地方議会」について

「日本の地方議会」の主張として、人口規模に応じて多様な執政制度の選択を可能にしている。同じ市といえども人口370万人の市から1万人を切る市まで多様である。それに合わせて、議員報酬の額も多様で議員報酬が月額20万円を切る自治体もある。人口規模が大きい自治体では、議員報酬だけで生活できる。つまり「専業化」できるが、そうでない自治体では「兼業」しないと生活できない課題がある。

3. 濱田 真理 氏 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授)

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題

ーハラスメントの実態から考えるーについて

地方議員に対するハラスメントの現状と、議会活動や選挙活動中に受けたハラスメントと実際にどんな被害があるのかを紹介する。ハラスメントに関する条例制定や女性議員のハラスメント相談センターの設置が重要である。

◆ 講師プロフィール

基調講演

講師 勢一 智子 西南学院大学法学部教授

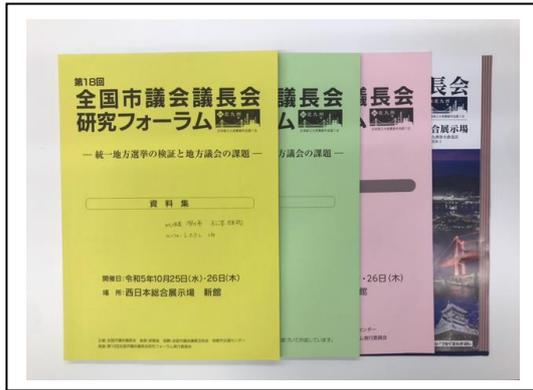
ハネルディスカッション

コーディネーター 辻 陽 近畿大学法学部教授

パネリスト 勢一 智子 西南学院大学法学部教授

パネリスト 辻 陽 近畿大学法学部教授

パネリスト 濱田 真理 Stand by Women代表



4. 田仲 常郎 氏 (長野市議会 議長) 「北九州市の取り組み」について

市民に市議会をもっと身近に感じてもらうため、北九州市の課題をテーマに議員と市民との意見交換を行っていることを紹介、「ドリームサミット (中学生議会)」や「平和のまちスタディーツアー」として議会棟の視察など、子どもたちの声が届くように取り組んでいること

を紹介、これまでに議員立法で5つの条例を策定し、現在は「こども基本条例検討会」を開催中であることを紹介。また、政策立案システムの構築にも取り組んでいる。※要旨は全て抜粋

第3部 【意見交換会】

別会場にて、参加した全国の議員で意見交換会が行われる。

プログラム第2日目 10月25日 (木)

[研修内容]

第4部 【課題討議】

「議員のなり手不足問題への取り組み報告」



【コーディネーター】

江藤 俊昭 氏 (大正大学社会共生学部公共政策学科教授)

「統一地方選挙からみる地方政治の現状」について

政治の劣化が進んでおり、投票率は一部の例外 (一般市の首長選挙) を除いては過去最低となっており、無投票当選も深刻化した。道府県議会議員選挙では無投票

当選者率 25.0% (前回より縮小)、町村議会議員選挙 30.8% となっており、立候補者が定員を下回る「定数割れ」が続出した。

なお、新たな傾向もみられ、女性議員の割合が増加し過去最高となった。



議員のなり手不足は、単に無投票（無投票当選者率の増加）というレベルにとどまらず、多様化の欠如年齢構成（高年齢化）、性別（男性優位）、職業等、投票率の低下、といった地域民主主義の問題につながる。議会の存在意義は、多様性を踏まえた公開と討論にある。今回のミッションは、議員のなり手不足問題の具体的な取り組み、取り組みの成果と課題、克服するための地方議会への提言を討議したい。

【事例報告者】

1. 辻 弘之 氏（登別市議会議長）

「なり手を育てる 地方議会未来への種まき研修会～地方議員養成講座～について

登別市議会は、登別市を少子高齢化・働き方・健康医療費・財政過疎化など課題先進地であると認識し、議会として地方議員養成講座を様々な講師を招き開催。受講者も男女問わず4割が40代で職種も行政職員や医療・福祉、会社員など延べ50人が受講。これまでに60%の30人が立候補し20人が当選。講座を開催する中で、議員のなり手不足の要因について様々な視点で取り組みを紹介。



2. たぞえ 麻友 氏（一般社団法人WOMAN SHIFT理事）

「若手女性議員のネットワーク&ママの議員インターン」について

届きづらい女性の声を政治につなぎ、1つずつ実現していくことをミッションとして事業を展開している。ワークショップの開催やママの議員インターンを開催し、女性の声をもっと政治に

届けるため、自治体行政の仕組みや議員の仕事、イベントを企画し市民課題の解決、自治体サービスの調査フィードバックを行っている。

3. 永野 慶一郎 氏（枕崎市議会議員）

「議員のなり手不足問題への取り組み報告」について

無投票選挙の克服をめざした4年間の歩み

枕崎市議会は令和5年5月1日から議員12名のうち女性4人誕生しました。（鹿児島県内では女性議員の比率が一番高い議会）

議会は、前回選挙が無投票当選という結果に落胆し、若手候補希望者の育成に取り組むが家庭の都合等で断念された例などを紹介し、議長に就任され定数を論じる委員会を立ち上げた。また、市議会に対する市民の声を聴くためのアンケート調査を実施し、定数減を決断した経緯を報告した。現在は市民と市議会との意見交換会を開催し、次回選挙へ立候補しないか声をかけている。

※要旨は全て抜粋

〔総 評〕

選挙は民主主義の根幹であります。本年6月、深川市議会議員選挙が行われました。しかし、無投票当選となり市民の皆様は選挙権の行使ができませんでした。

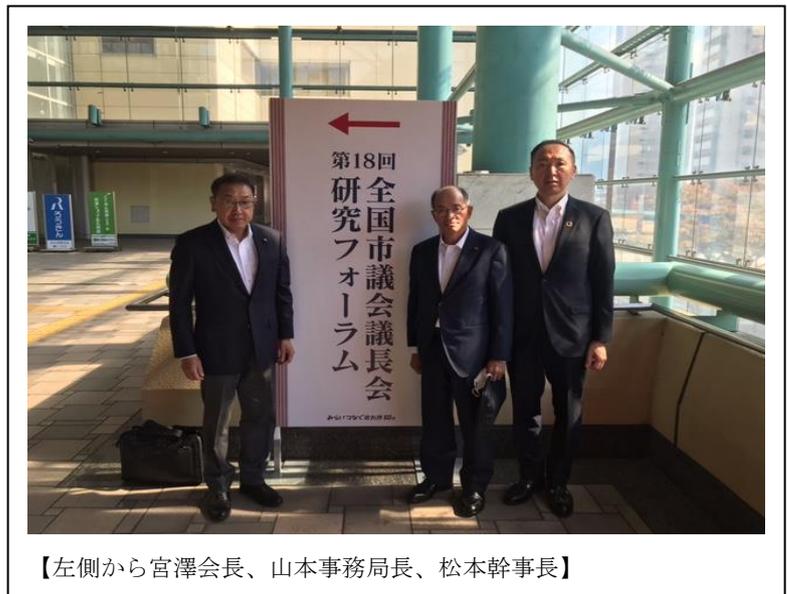
選挙がないことは、私たち議員も自身の公約や政策、政治信条、深川市への思い等を有権者に訴えることができません。やはり、選挙を行い審判を受けることが重要であると考えます。

一方、現在に地方議会の求められる多様性に関しては、深川市議会は若者議員が誕生し女性議員の割合が増加したことは新たな傾向性ではないかと考えます。しかし、選挙がない事は、議会・議員の正当性に疑問符が付けられ、地方議会の衰退にもつながります。

今回の研究フォーラムは、全国各地の議員のなり手不足問題の取組等の実態を学び、認識する大変貴重な機会となりました。

なり手不足の要因は、議会の魅力の衰退、条件の悪さ、地域力の衰退などもあると思いますが、なり手不足解消の特効薬はありません。

私たち深川市議会議員は、住民に開かれた議会、信頼される議会を目指し、一人



【左側から宮澤会長、山本事務局長、松本幹事長】

ひとりが議会活動・議員活動を通して、今まで以上に発信していくことが求められると考えます。

本年12月の第4回定例会で、こうした議会活動を加速していくため「議会改革特別委員会」を設置しました。今後、意見交換会の実施や議会報告会を開催しながら、深川市議会基本条例の策定を進め、住民の皆様と「深川の未来」の構築に向け、共に歩める議会に向け全力で取り組んで参ります。